

「遍路文化を活かした地域人間力の育成」

講演会

主催 鳴門教育大学
後援 徳島市教育委員会、鳴門市教育委員会、NHK徳島放送局、徳島新聞社、
四国放送(株)、財団法人e1とくしま推進財団

共催 徳島県教育委員会

四国放送(株)、財団法人e1とくしま推進財団



趣旨

鳴門教育大学では、四国に育まれた癒し・いたわりの文化である遍路文化を四国のアイデンティティと位置づけ、その活性化により、地域社会を担う人間力を育成するため、以下のような取組みを行っています。

- ①遍路地域の「まるごと博物館」構想による地域文化活動
- ②歩き遍路体験による「いたわり」情操教育
- ③これからの文化・教育活動の発信

今回の講演会では、これまで地域の人々と連携しながら行ってきた四国遍路文化の研究教育活動について報告すると共に、今後の豊かな地域づくりについて考えます。

日時

平成21年12月20日(日)
13:00～16:30

会場

阿波観光ホテル
5階(クリスタルパレス)

参加対象 大学関係者、教育関係者、学生及び一般市民

参加費 無料

プログラム

【総合司会】

鳴門教育大学人文・社会系教育部
教授 大石 雅章

12:30～13:00

受付

13:00～13:10

開会

- ・主催者代表挨拶
- ・共催者代表挨拶

鳴門教育大学長 高橋 啓
徳島県教育委員会教育長 福家 清司

《 第 I 部 》

13:10～15:20

「五番札所地蔵寺と四国遍路」

鳴門教育大学 人文・社会系教育部 准教授 町田 哲

「鶴林寺道の文化財調査」

徳島県教育委員会 文化財課 企画指導担当 社会教育主事 早渕 隆人

「俳句が語る遍路体験、その人間形成的意義
—学生による創作俳句の心情の分析から—」

鳴門教育大学 基礎・臨床系教育部 准教授 皆川 直凡

「歩き遍路に向きあう学生へのアプローチ」

鳴門教育大学 芸術・健康系教育部 准教授 南 隆尚

「大学と学校の連携による歩き遍路実践」

那賀町立 相生中学校 教諭 片山 純州

15:20～15:40

休憩

《 第 II 部 》

15:40～16:20

影絵と音楽劇「杏子と打樋川のカッパ」

原作 ふるさと阿南(見能林)のむかしばなしより

脚本 鳴門教育大学 芸術・健康系教育部 教授 草下 實

16:20～16:30

閉会

会場アクセスマップ



交通アクセス

JR	高松から……………	特急/59分
	岡山から……………	特急/1時間53分
	阿波池田から……………	特急/1時間6分
	牟岐から……………	特急/1時間7分
飛行機	東京から……………	1時間15分
車	高松から……………	1時間50分(R11)
	徳島空港から……………	約25分
	徳島I.Cから……………	約15分
	鳴門I.Cから……………	約30分
	明石から……………	約1時間20分
高速バス	大阪から……………	2時間35分
	三ノ宮から……………	1時間55分

●会場連絡先 **阿波観光ホテル** 〒770-0833 徳島市一番町3-16-3
TEL 088-622-5161

お問い合わせ

鳴門教育大学 戦略的教育研究開発室

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

TEL : 088-687-6125

E-mail : gphenro@naruto-u.ac.jp